

## 第二部 総会

● 来賓祝辞 ●

秋田県立能代高等学校同窓会長

神馬 恒成氏 旧制九期



本日は、相変わらず大盛会の東京同窓会にお招き頂きましてありがとうございます。今日、私感激したことは、板倉会長さんが今回引退されまして、小林さんが新会長に就任すると聞き、今日果たして会長さんはいらしているのかしらと思つて来ましたら、前よりも非常に元気なご様子でお会いできました。本当に安心したところでございます。まだまだ、板倉会長さんにはこれまで以上の活躍を期待したいと思つています。またもう一つは、この十周年に当たりまして新卒の方々を招き激励したということ、これは東京同窓会の本当の発展のために有意義であらうと、本当に感激しております。またさらに、私の同期生である高橋正太郎君の講演を聴いたこと。私今まで会長就任以来、東京同窓会にお招きを頂戴して参加させて頂いておりましたが、特にこの三つを感激した次第でございます。私の能代山本の地元で、今年はいまだかつてない、

能代市・山本郡で若いわが同窓生3人の県会議員を一挙に出したということ、また、峰浜村の議会議長大谷君が、全国の議長の副会長に就任いたしました。今年は本当に能代高校が、やはり他を抑えて隆盛の一途を辿つておるといふ証拠を見せて頂きました。

この際、もう一つ報告したいのは、私どものホープ佐々木総務庁長官のことですが、私も今日も飛行機に乗る前に病院へ行つてお見舞いしてまいりました。ちょうど彼が入院されて一週間目に、集中治療室で彼をお見舞いして、非常に元気な姿を見ました。また、本日この同窓会の総会で、皆さま方に報告する義務があるということ、本日は午後三時から面会時間でございますが、私十時頃病院へ行つて、所長と主治医の部長お二人の案内で面会してまいりました。今は一般病棟におりまして、盛んにトレーニングをしております。リハビリをやっております。今日も私の前でいろいろ立つてみせたり、体操をやつてみせたり、非常に順調な経過を辿つております。したがって、今回は別として、来年度の選挙には完全に快復して、参議院議員に立候補できるものと、私今日確信してまいりました。以上報告いたしました。私の挨拶に代える次第でございます。今日は本当に盛んなる総会、誠にありがとうございます。

秋田県立能代高等学校校長

推名 光雄先生

皆さんの母校能代高校の校長を、昨年四月から勤めさせて頂いております推名と申します。このようにすばらしい大先輩、また各界で活躍



しているたくさんの方々がこのように集まり、東京同窓会の総会が盛会に行われますこと心からお祝い申し上げます。なおまた、今回始めてのこととは聞きますけれども、この三月卒業して東京近辺におります、新入生と申しますか新会員と申しますか、ご招待にあずかりかつ激励して頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。今年卒業され今日始めて参加の皆さんは、能代高校の卒業生、しかもすばらしいこの東京同窓会の会員であるということ、今日改めて自覚してくださいまして、今後能代高校の卒業生として、立派に社会の中であるいは大学生活を送つて頂ければと、このように期待したいと思います。

学校の概況の詳しいことはお手元に資料として綴じたものをお配りしてあります。その概要は、時間がありますればいつかじっくりお読み頂き、高校時代あるいは旧制中学時代の思い出にして頂ければと存じます。したがって、私からは簡単に二、三申し上げるだけにしたいと思います。まず卒業生ですが、この三月の卒業生を含めまして、総数が一万四千七百六十九名になつております。来年の三月には一万五千の大台を超えることとなります。一万五千の同窓生

をもつて、本同窓会が益々隆盛を極めることを期待いたします。二つ目は、これは喜んでいいかどうかわかりませんが、現在女子生徒が一年から三年までに三百十名おります。全体の三一・三%、ほぼ三分の一ということになっております。華やかなものですが、一見女子のほうが多いような気がしないでもない状況です。

至誠力行・文武両道、これを本校の校是校訓としております。文のほうでは、本校に期待されておられるのは、やはり大学進学でございます。ご承知のように、現在は大変な受験競争激化の時代でございます。今日ここにもおりますけれども、今年の卒業生は、国公立大学が延べにして九〇名、私立大学が一六〇名、併せて二五〇名、一昨年よりも約四〇名ほどの増加でございます。ただ、能代・山本一円からそこそこの選り抜きの生徒が来ております。われわれの努力次第ではまだまだ伸びる素材である、ということをお自覚しまして、先生方ともども、今後とも本校に対する期待に応えていく教育をしてまいりたいと考えております。

もう一点の武のほうでございますけれども、今日はお叱りを受ける覚悟でまいりました。それは甲子園でございます。今年も期待して、来年春の予選である東北大会に出られるのではないかと考えていたのですが、東北の代表として出場、全県の大会の二回戦で敗退しました。大変残念に思っております。すばらしい選手がそろっておりまして、皆さまのご支援を頂きながら、来年の夏こそはなんとかして甲子園へ送り出したいと、学校あげて頑張っております。なお、その他の部活動では、まもなく行われる国体に、体操部四名、陸上競技二名の計六名の選手が出場します。六名ではございますが、進

学校の実態からしますと、まずまずの健闘ではないかと思えます。その他、剣道、バレーボールとそれぞれ活躍していますが、今一步のところでは出ない状況です。ただ、あまり表面には出ないのですが、軟式野球部だけは去年の秋は全県大会、東北大会で優勝しました。今年の春も優勝して、あわよくば明石球場の全国大会と思いましたが、これまた一回戦で代表になつた本荘高校に負けてしまいました。涙を飲んだわけです。その後、秋の全県大会はこれまた優勝しまして、この一九・二〇日に東北大会が秋田であり、現在その優勝をめざして頑張っております。それが学校の現状でございます。

なお最後になりますが、校舎前の田圃がまもなく購入が決定するはずですが、それを整備しまして、校門を私道のほうに移しますと、校舎まで約百三十メートルの通路となります。校門を入つて、さあ、ここからいよいよわが母校だという実感のわく、松の緑に囲まれた通路を作りたいものだ、PTAならびに同窓会会長さんにもお願いして計画を進めております。また、その他の施設設備に関しても、文武両道・至誠力行の教育が充分に実行できるよう、努力してまいりたいと思えます。なお、学校から私を始め、今日見えている新入会員の担任であった半田教諭と佐沢教諭がまいっております。厚々御礼申し上げますと同時に、東京同窓会の益々の発展と皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、学校概況の報告とさせていただきます。

## 能代高校東京同窓会

収支決算報告書

自平成二年十月一日〜至平成三年九月三十日

収 入 (円)		支 出 (円)	
前期繰越分	736,190	総会会場費	640,810
寄付金	383,000	総会諸経費	222,590
総会会費	807,000	印刷・広告代	64,080
名簿売上	60,270	事務経費	141,910
恩師招待寄金	134,000	郵送料	260,971
預金利息	12,604	次期繰越金	802,703
合計	2,133,064	合計	2,133,064

右の通り相違なきことを報告申し上げます。

平成三年十月二日

会計監査監事

八柳 昭義